

特集 子どもの権利をどう守るか 《こども家庭庁始動》

巻頭言/梶野光信

アプローチ1 実践に活かす方途を見いだす

●論考・調査・報告

- ①子ども虐待予防支援の課題/山縣文治
- ②子どもの声を聴く意味/林 大介
- ③ヤングケアラー・若者ケアラーへのまなざし/田中悠美子
- ④逆境的体験を経て大人になる子どもの自立支援/石田賀奈子

アプローチ2 導入のヒントを得る

◆実践事例

- ①子どもたちの声を聴くこと、多様性を認め合うこと
～重大事態をきっかけに始まったピンクシャツデー～
/坂本大輔
- ②すべての子どもたちが生きる力を育む遊び場～コンセプト
は「生きる力」「インクルーシブ」「地域共生」～/色部正俊
- ③児童養護施設と大学が連携する福祉教育プロジェクト
～「お料理の会」をはじめとした子どもの参加機会と参加者
の学び～/吉田祐一郎・岡出多申

◆NPO/社会福祉法人の挑戦

- ①スポーツ振興と選手支援、そして介護職確保/稲葉裕二
- ②家庭でのキャリア教育を後押しする/小見まいこ

アプローチ3 学校現場のリアルを可視化する

■わたしの指導案

子どもの遊びの意義を問い直す

～子どもが体験すべき危険なこと提案～/小山田祐太

■子どもを育む多職種協働

子どもたちの権利を護り、健全な育成を育む福祉教育実践

～交野市社協と女子少年院の協働による福祉共育実践～

/新崎国広・各務正敏

■高大連携事業

高大連携による福祉の学び「その2」高校側からみた高大

連携実践②/吉田高子

アプローチ4 学びの多様性から福祉と教育の接近性を吟味する

◎ふくし原論

ふくし教育原論/原田正樹

◎ふくし最前線

児童養護施設で暮らす子どもの権利擁護

～現場最前線での思い/桑原教修

アプローチ5 特集テーマの広がりをつめる

◇図書紹介

①米澤好史『やさしくわかる！愛着障害』/奥山留美子

②鶴石悠紀『こんにちは、民生委員です。』/馬川友和

③サンドラ・ヘフェリン『ほんとうの多様性についての話を
しよう』/小林洋司

④河内崇典『ぼくは福祉で生きることにした』/高木諒

◇イベント・動向

季刊『ふくしと教育』のご案内・2024年度のラインアップ

アプローチ6 「ふくし」の問いを当事者との対話から深める □ふくし対話「この人と語る」

子ども・若者アドボカシー

～子ども・若者に社会参画の機会を～

/村上徹也・両角達平・梶野光信

巻末言/渡邊一真